

きれいな甲斐

No.40 OCTOBER 2007

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 〆junkan@pref.yamanashi.lg.jp
URL http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

『ノーレジ袋推進の日』 県下一斉キャンペーンを実施!!

ストップ・レジ袋 大作戦

マイバッグ持参に
ご協力ください

地球にやさしい買い物ははじめませんか?
主催：山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会・山梨県

3R推進月間である10月を、県では「マイバッグキャンペーン強調月間」として、マイバッグを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶ等の行動を呼び掛けています。

日常の買い物と環境問題は密接に関係しています。この運動は自分の買い物袋を持参したり、以前スーパーなどから受け取ったレジ袋をくり返し使用することなどにより使用されるレジ袋の削減と、ごみに関する意識啓発、使い捨てのライフスタイルの転換を図るための運動です。

●全国で1年間に使用されている305億枚のレジ袋は…



200Lのドラム缶

約300万本分(約60万kl)

容器包装リサイクル法の改正を契機として、県内のスーパー事業者や消費者団体で構成する「山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会」が8月に設立され、レジ袋削減に向けた現在の状況や今後の取り組みについて検討を進めてきました。

3R推進月間及びマイバッグキャンペーン強調月間である今月、10月7日(日)を『やまなし「ノーレジ袋推進の日』』として、スーパーマーケットなどで配られるレジ袋の消費量を減らすため、協議会に加盟する県内の約100店舗でレジ袋の辞退を呼び掛けるキャンペーンを行いました。そのうち10店舗では、レジ袋有料化に関するアンケートを実施し、集計結果は回答数1,148人のうち、有料化に賛成が77.8%、反対が6.8%でした。

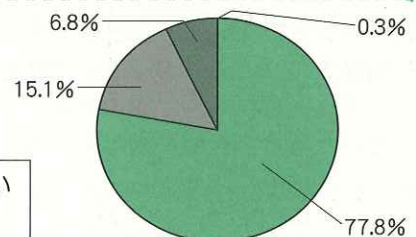


アンケート風景

アンケート集計結果

◎レジ袋の有料化に賛成ですか？

- 賛成
- どちらでもない
- 反対
- 無回答



環境に配慮したイベントに参加してみませんか

秋はイベント目白押し!

1. 第22回県民の日記念行事

平成19年11月10日(土)・11日(日)
小瀬スポーツ公園会場(甲府市)



昨年度の様子

昨年度に引き続き、当会も環境広場への出展を行います。恒例の環境意識の啓蒙を目的とした「クイズラリー」、ごみの持ち帰りを呼び掛ける会場内のパレードの実施の他に、新企画『『エコリー』ぬりえ』も準備しています。

この機会に一人でも多くの方が環境広場を訪れ、ふるさと山梨の環境について考えていただくきっかけとなりますよう、会員以外の方にもお声をかけて一緒に足を運んでみてください。

◆会場では、多くの食材提供のブースが出展を予定しています。このイベントでは、『ごみの減量化』『環境への配慮』という意識から『リユース食器』を使用します。『まだ、リユース食器って未体験』という方も、この機会にリユース食器を使って旬の山梨を味わい、エコな体験も同時にしてみたいいかがですか。

◆ご来場の際は、

ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

★ 問い合わせ先★ 循環型社会推進課 TEL.055-223-1506

2. やまなしエコエネルギーコンテスト

平成19年11月18日(日)
山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨(甲府市)

化石燃料に頼らない、クリーンなエコ エネルギーへの期待が高まる中、自然環境に恵まれたこの地で、再生可能エネルギーの普及や技術の振興などを目的に、エコエネルギーを活用した技術やアイデアのコンテスト、ソーラーカーのタイムトライアルレースや環境学習のための親子工作教室などを開催します。

◆当日の観覧は自由です。(一部事前申し込みが必要なものがありますので、確認の上ご来場ください。)



ソーラーカー
コンテストの様子

※コンテストへの
申し込みは締め切
りました。



ペットボトルソーラ
ーカーのキットと完成品

※親子工作教室は、随時受付
を行っておりますが、定員に
達し次第締め切りますのでご
了承ください。詳しくはホー
ムページにて確認してください。

〈やまなしエコ エネルギーコンテストのホームページ〉

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/35923225107.html#C1>

3. 平成19年度 ふるさと特産品フェア

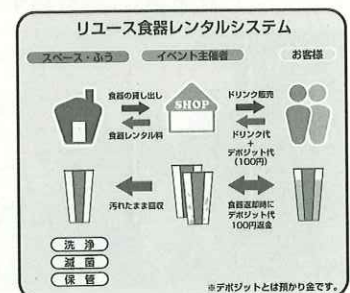
平成19年10月20日(土)・21日(日)
小瀬スポーツ公園会場(甲府市)

実施済
です

このイベントは「やまなしの県産品フェア」「商工会むらおこし物産展」「農業まつり」「森林のフェスティバル」の4つのまつりが合体して、山梨県内で生産される農畜水産物、林産物、地場産業製品を一堂に集め紹介するイベントです。当会の会員各団体も出展しました。

○イベントでは県民の日記念行事と同様にリユース食器が活用されました。関係者の『ごみの減量化』『環境への配慮』という強い意識から2年前から導入された取り組みです。ご来場のみなさんからもご理解とご協力をいただき、食器の回集もスムーズに行えました。

※リユース食器をコーディネートしたNPO法人スペースふうは、甲府武蔵野シネマ5やヴァンフォーレ甲府のホームゲームなどのリユース食器使用をプロデュースしています。
※本誌発行時期の都合により、実施済となってしまいましたことをご了承ください。



※チャリットとは預かり金です。

マイ箸キャンペーン

～ MY-HASHI これからは**ワ**らない、もったいないキャンペーン～

日本国内だけで年間約250億膳。一人当たりで換算すると、年間約200膳(林野庁資料より)も消費される、「割り箸」を使うことをできるだけ控えて、自分のMY-HASHI(マイ箸)を持ち歩く。そんなことから始まる「環境への優しい配慮」を目指すキャンペーンです。

環境破壊、地球温暖化が叫ばれている現代、割り箸を一回使っただけで捨ててしまうのはもったいない。使い捨てのライフスタイルを見直そうと始められたマイ箸キャンペーンが、今、ムーブメントとなっています。コンビニのお箸？ありません。飲食店でのお箸？ありません。おそば屋さんのお箸？ありません…

まずは、一人から始める。そして友人にそのことを伝える、そしてまた友人へ……。この優しいリレーで、250億膳の割り箸の消費が半分でも少なくなったらステキじゃないですか？

「エコしてトクする・マイ箸キャンペーン」

～山梨放送「YBS・ECO プロジェクト」～

実施中

山梨放送「YBS・ECOプロジェクト」の一環として行われている、「エコしてトクする・マイ箸キャンペーン」は、海外から輸入される割り箸の使用をやめて、マイ箸の使用を促進することを目的としています。たくさんの人に「身近なエコってイイかも」と感じてもらえるような誰でも参加できる新しい“エコキャンペーン”です。

推進飲食店にマイ箸を持って行き飲食していただくと、各店での特典が得られます。

◆期間◆ 2007年8月4日(土)～2008年1月31日(水)
(飲食店サービスは2008年8月3日まで)

◆推進飲食店◆ <http://www.ybs.ne.jp/2007myhashi/>

をご覧ください。

*本キャンペーンでは、国産の健全な森林育成のために作られた割り箸の使用もマイ箸の推進と同時に促進しています。

*キャンペーンに関するお問い合わせは、
山HYBS営業推進局 マイ箸キャンペーン事務局 (電話055-231-3121)へ

▼こんなお箸もあります



2007年度グッドデザイン賞受賞
～「日本の伝統色、三十色の彩箸」～

ブランド: MY-HASHI MY-HEART
受賞企業: 株式会社 藤井ネットワーク

箸から地球を考える

年間割り箸使用量は、約250億膳。

一人当たりで換算すると、年間約200膳。

この木材の量は、120平方メートルの一戸建て17,000戸に相当します！

そのほとんど97%は海外からの輸入に頼っており、さらに輸入量の99%が中国からの輸入です。

地球の森林は、1分につきおよそ30ヘクタールずつ失われています。年間で14万平方キロメートル。北海道と九州を併せた位の面積の森が無くなっていることとなります。(WWF)

地球上で、この破壊を今すぐにも止めなければ、人や鳥、動物たちが住みかを失うこととなります。

また、数知れない樹木や草花が失われ、ひいては地球の気候にまで大きな影響を及ぼしてしまうのです。

環境問題とは遠い世界の話ではなく、今ここにある現実なのです。



～環境保全活動支援事業費補助金～ 循環型社会推進課

「県民、民間団体、事業者、市町村などの各主体が、目標を共有し、公平な役割分担のもと、自発的かつ積極的に環境の保全と創造に取り組む」事業を支援することを目的とした補助制度です。これまでの補助制度では、市町村を対象に補助してきましたが、今年度から、環境活動を行っているNPO・環境団体等に対しても補助が可能となりました。今年度中の申請もまだ受け付けていますので、御希望がありましたら県森林環境部循環型社会推進課までお問い合わせください。

●内容

1. 対象となる団体

- ・市町村等……市町村及び一部事務組合
- ・公共的団体等……地方自治法第157条に規定する公共的団体等であって、規約を有し、環境保全活動に3年以上の実績のある団体(例えば、NPO、自治会、商工会、森林組合など)

2. 対象となる事業

環境の保全と創造に資する次の事業を対象とします。

- (1)ごみ減量化・リサイクル普及啓発 (2)みどり

のエネルギー利用促進 (3)エコドライブ運動の啓発 (4)環境学習会等の開催 (5)環境の保全と創造に資すると知事が認めた事業

補助率…補助対象経費の1/2以内

補助限度額…50万円から200万円(事業費100万円から400万円)

※対象事業詳細は、県庁ホームページにて公表しています。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/38450289148.html>

3. 問い合わせ先

山梨県森林環境部循環型社会推進課 再資源化担当
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507

会員レポート Vol.2

山梨県高等学校PTA協議会長 深澤芳次

①「被災時『帰宅困難体験』を行ないます。 (平成19年11月4日(日)午前9時30分～甲府駅から竜王駅)

◆主催 災害・防災ボランティアこうふ◆

無秩序な開発や森林の放置により生じる自然の破壊が進み、自然災害を引き起こす事が多くなりました。私達は後人の為に環境の保全と安全を保つ知恵を身体を持って伝えていかなければならないと思います。安全を確保する為には何が必要かそんな基本を考えながらの取り組みです。



(新潟中越沖地震でのボランティアの様子)

②『ものづくり展』



山梨県石材技能士会では、11月10日県民の日を皮切りに11月26日から12月2日まで東京日本橋「ふじの国 やまなし館」において『ものづくり展』会員の手作りによる作品展を行います。

昨今、石材加工作業が国外に依存し、国内での生産が低迷すると共に古来から伝わる技が軽視される傾向にあります。日本の文化を守る為にも国家検定となっている資格を取得し会員が切磋琢磨し、技の継承を図ることが大切と考えます。この事業を通して技の継承だけでなく地産地消を訴え、これにより、国内外における輸送にかかる化石燃料の軽減にも繋がると考えています。そんな取り組みです。

お知らせ

「きれいな甲斐」は送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページよりダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局へご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局 (県循環型社会推進課内)

TEL: 055-223-1506/FAX: 055-223-1507 E-mail: junkan@pref.yamanashi.lg.jp

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。